キャラクター名: マルティシア

プレイヤー名:

種族	ドレイク	種族特徴	暗視/限定竜化/光ブレス/弱点(魔法+2)		
生まれ	魔術師	性別	♂	年齢	覚えてない
冒険者Lv	4	経歴	異種族を怖がっている(いた)		
経験点	450		伴侶がいる(いた)		
			ひみつ基地を持っている(いた)		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	11	器用度	2	1		14	2
		敏捷度	1			12	2
体	12	筋力	7			19	3
		生命力	5			17	2
心	7	知力	17	1		25	4
		精神力	9	1		17	2

技能	Lv.	技能	Lv.
ソーサラー	4		
セージ	3		
バード	1		

技能

	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾

		ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	クロースアーマー		1		2
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能			合計値	0	2

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
メイジスタッフ 動物の頭蓋骨を模したステッキ	2H	1	1	2d+ 1	12	0	11										
				2d+													
				2d+													

一般装備品 (消耗チェック)

- 初期作成 ○□□○□□
- ○□□○□□
- 魔香草x3 ○□□○□□
- ○□□○□□
- 煙管 ○□□○□□
- 刻み煙草 ○□□○□□

- 火口箱 ○□□○□□
- ○□□○□□
- ファミリア ○□□○□□
- ○□□○□□
- ○□□○□□

所持金 1214 G

預金・借金 G

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	12 m	36 m

回避	防護点
2d+ 0	2

HP
29

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 7	2d+ 0

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 6	2d+ 6

MP
29

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
真語魔法	4	8			

戦闘特技

魔法誘導	223 p		p
魔法拡大/数	226 p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p
	p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
ドレイク語	○	○
汎用蛮族語	○	○
魔動機文明語		○
魔法文明語	○	○
妖精語	○	

装備品		説明
頭	シルクハット	ツノが出せる穴が空いている特注品 シャンデル製品
耳		
顔		
首	ファーマフラー	
背中		
右手	手袋	皮製
腰		
足	おしゃれ靴	
その他	ハンカチ	胸ポケット

装備品		説明
左手	指輪	宝石 魔法の発動体

練技/呪歌/騎芸/賦術

レクイエム	

名誉アイテム	点数

名誉点 所持 0 /合計 0

その他メモ

Session1...
悲しみに暮れ総てに蓋をする為眠りに就いた私であったが、数百年振りの目覚めは決して健やかなものではなかった。
忘れる事など無理なのだ、ルーナ。私は今でも君の体温すら思い出せる。
せめてもの気分転換にと屋敷の外へ散歩に出かけたのだが、いつの間にか深い霧の中へと足を踏み入れていた。
それは奥へと進むにつれ桃色がかり、気付いた時には足元がぽっかりと空になっていた。
視線を下…私が今落ちている先へ向けてみると、一軒の家が見えた。着地点を決めた私は勢いに任せ室内へと邪魔をする。
私の身を受け止めたのは何とラルヴァであった。褒めてやろう。
テーブルを囲んでいたのはこのラルヴァの兎にミアキスとダークトロール、何とも奇怪な取り合わせだ。
腐る程の繁殖を見せる人間がこの中では一番珍しい種族となっている。
話を聞けばこの者ら、ケットシー以外は人探しの最中にこの妖精郷とやらに迷い込んだそうだ。
私も、共に落ちてきた人間もいわゆる迷子ということになる。

自動失敗チェック

□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟